

奈良県の労働市場の動き（平成31年2月分）

- 有効求人倍率（季節調整値）は、1.51倍で、前月より0.02ポイント上昇しました。
- 全国は1.63倍で、奈良県は0.12ポイント下回りました。
- 近畿ブロックは1.62倍で、奈良県は0.11ポイント下回りました。
- 有効求人数（季節調整値）は、25,392人、前月より0.5%増となり2ヶ月ぶりの増加となりました。
- 有効求職者数（季節調整値）は、16,821人、前月より0.8%の減となり2ヶ月連続の減少となりました。
- 新規求人倍率（季節調整値）は2.24倍でした。前月より0.05ポイント上回りました。
- 新規求人数（季節調整値）は、9,252人、前月より4.0%の増加となりました。

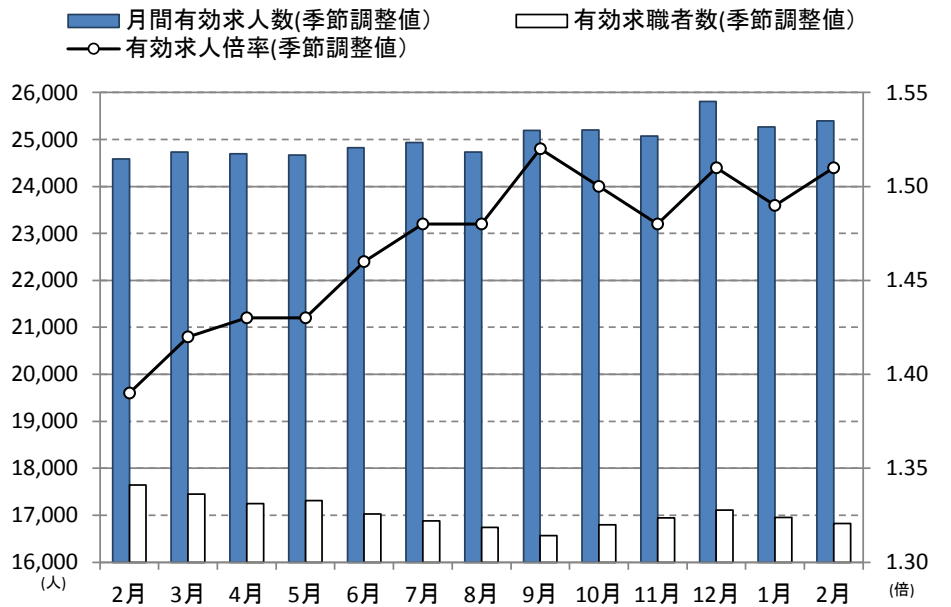
主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「製造業」、「宿泊業、飲食サービス業」「医療福祉において増加し、「建設業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「サービス業(他に分類されないもの)」で減少しました。

建設業(前年同月比1.1%減)、
製造業(同7.1%増)、
運輸業、郵便業(同0.6%減)、
卸売業、小売業(同4.5%減)、
宿泊業、飲食サービス業(同44.9%増)、
医療、福祉(同2.3%増)、
サービス業(他に分類されないもの)(同8.8%減)

- 新規求人数（原数値）のうちパート求人は4,900人でした。パート求人の比率は49.5%でした。
- 新規求職者（季節調整値）は、4,138人で前月より1.7%の増加となりました。
- 雇用保険受給資格決定件数は974件でした。前年同月比で1.3%の減少となりました。
- 雇用保険受給者実人員は3,319人でした。前年同月比で7.7%の減少となりました。

(注) 求人倍率(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、平成30年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)

